

### 令和3年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護学実習Ⅱ	科目区分	専門分野Ⅱ	授業の方法	実習
対象学年	3学年	単位(時間)	2(90)	開講時期	3年前期
担当教員：井上 亜希		実務経験のある教員による授業			☑
<p>老年看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している。</p>					
<p>《科目目標》</p> <p>実習目的：入院中の高齢者を対象とし、安全・安楽で安心できる療養環境について考え、もてる力(強み)ができる限り引き出されるような看護を身につける。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>実習評価表に基づき評価する。</p>					
<p>《使用教材（教科書）及び参考図書》</p> <p>ナーシング・グラフィカ ①高齢者看護の実践 ②高齢者の健康と障害 メディカ出版 生活機能からみた老年看護過程 医学書院 他</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>事前学習、課題学習を行う。</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・演習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。</p>					
<p><b>実習プログラム</b></p>					
実習期間	3学年 5月～7月				
時間数	合計 90 時間				
実習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾病の原因、誘因について、個人因子、生活環境から捉える。</li> <li>2. 疾病の症状・状態、および治療の理解をして、観察内容や治療処置の必要性につなげて考える。</li> <li>3. 6つの生活行動に対してアセスメントし、日常生活援助の必要性を見いだす。</li> <li>4. 患者の状況に適した目標設定をする。</li> <li>5. 日々の状況の変化に応じて、状態を観察・アセスメントし、報告できる。</li> <li>6. 症状緩和・快の刺激：安心・安全・安楽を意識して、ケアを提供できる。</li> <li>7. 自立支援(予防)：予測される合併症予防、廃用予防ができる。</li> <li>8. 自立支援：できるところに着目(プラス思考)して、そこに働きかけ、それを維持または拡大する。</li> <li>9. 関わり方：理解力や意思伝達能力、心理状況を考えエンパワメントを意識して、コミュニケーションをする。</li> <li>10. 尊重(自己実現・尊厳)：患者の意思・自己決定を尊重しつつ、医療者としての提案をしていく。そのバランスを養う。</li> <li>11. 看護実践を振り返り、その結果がどうであったかをまとめる。</li> <li>12. 老年看護で大切にしたいことを明らかにする。</li> <li>13. 患者、学生間、医療スタッフ等と協調しながら実習できる。</li> <li>14. 医療者として適切な責任ある行動、倫理的配慮ができる。</li> <li>15. 指導者または教員に必要な報告・連絡・相談が適宜できる。</li> </ol>				